

ザ・ペンズ サロン

筆者の豊富な機微に通じた人生経験から、夢と希望の光を希求する、次世代へのメッセージ!

ジョークサロン会員 / リレーエッセイ⑨

『「伝笑鳩」で笑いの輪を広げたい』

定年退職後、これから何をしようかと考えていた時、会社同期の野本さん(注…ジョークサロン会報「伝笑鳩」/変集鳥「編集長」)が「月例会を覗きに来てくれよ」と声をかけられた。面白いのかどうか分らなかつたが、何はともあれ「百聞は一見に如かず」と思い覗いてみることにした。

想定していた以上の大歓待を受けて気分がスッキリしたことを覚えている。

みなさんの笑い声や話しぶりを聞きながら、一緒に笑っているいろいろ考えた。

★イライラすればストレスは増大するけど、参加している皆さんと一緒に笑っていると、なんとなくストレス解消に繋がります。そうだなあと思う。

★皆さんそれぞれ独自のスタイルで川柳や都々逸、狂歌とかダジャレや小喃を作つて楽しそう。

★ジョークを言うとか、私には無理だなあとも感じたが、ストレス解消になるのなら、顔出しくらいはいいかも知れない、と思った。

とは感じたものの、いざジョークサロンに参加するとしたら、どんな笑いネタを考えればいいのかと思う、どうしようかと悩む。「孤軍奮闘」「一念発起」。自分なりの独自パターンで笑いにチャレンジすべく検討した。タイトルは『笑いの笑解』

(紹介)に決めた。気分としては笑いの本質に迫る分析をしたのであるけれども、残念ながら、実際には現時点でもそうはなっていないのだが。(笑)

そこで自分なりの方針を「企画立案」、構成の組立てを検討してみた。

①テーマを絞ると、すぐにも行き詰まりが来るのでは思い、○○○篇として、いろいろと自由度を広げる事とする。

②構成・組み立てとしては、「いろいろな事象↓キーワードのピックアップ↓自分なりの思い・気づき」等を述べよう。

キーワードのピックアップは、その頃たまたま見た某TV番組「女酒場放浪記」風がいいなと思ったので、その手法を借用することにした。

番組では、訪れた酒場名を頭に、その店の売りをPR / 強調している。

その時見た『鳥忠』(とりちゆう)という店のPRは

と…とても好きになりました。

り…理由(りゆう)は数々!

ちゆう…チュウしたいくらい!

とても印象に残るし、面白いじゃないかと。キーワードを強調するにはいいやり方だと思ひ、このパターンの借用する事を決めた。

③最後にまとめの言葉をいれるのだが、自分なりに気が付いた強調したい事記載

して完了する構成とした。

④おまけは④-1「四字熟語」「四字漢字」を取り込むべく、考慮し、以前から4つの漢字で深い意味を持たせることには興味があった。さらに④-2として、イラストを入れて、全体のソフト感、イメージアップを計ることとした。

ということでは仕上げた小生の作品を次に示す。笑って貰えれば「光栄至極」。

『笑いの笑解(紹介)』注…上記の①②③

④-1を事例内に示す。

①バスの風景篇…②バスにおける「三者三様」(④-1)の出来事…あいかわらずおばさん達は「元気一杯」!!

(1)とある夏の日、おばさんが大木の陰でバスを待っていた。運ちゃんがおばさんに気づき、何とか停車。おばさんが乗車の際、運ちゃんが一言、「時刻には、停車所迄出てきて」と、強い口調で言う。何故?

実は停留所で乗客をバスすると、会社から何らかの罰則が出る由。通報者の一言が運転手にとっては、大変らしい。

(2)ガラガラのバスにおばさんが乗車。どこに座るか悩み出し、運ちゃん発進できず、マイクも控えジイッと座るのを待つ。選択権を得た喜びか「優柔不断」な性格なのか? やつと席に座る。すかさず運ちゃん、発車オーライ!!

(3)混雑しているバスに年齢も同じ位のおじいさんが2人乗車。座っていたおばさんが先に乗った背が高く、がっちりしたおじいさんに席を譲ろうとするが、おばさんの近くの若い女性が先に席を空けたので、そこに座る。おばさんどうするか?

後ろのおじいさんに譲るかと思いきや、

自分が座った。えっ! 思ったが、二人のおじいさんをよく見ると、譲ろうとしたおじいさんは「杖」を持っていた。おばさんとしての「判断基準」なのか。なんとなく納得感有り。

三…(三)人とも「自由奔放な動き者」。「社(しゃ)会生活」を十分に満喫

三…(さん)さんと輝き、「人生謳歌」様…(様)子は異なるが、思い思いの自由な行動…今後とも、さらにのびのびとした対応を期待したい。

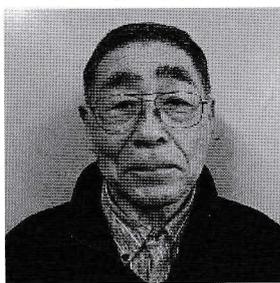
③バスに乗るごとに、新たな事象に遭遇し、元気なおばさん達に活力をもらい、気持ちよく降車。私も同様に真似したいが、なかなかできない。

でも「気分爽快」になる。そう解放されているおばさん達に感謝かも。

以上のようなスタイルを維持しながら、これからも『伝笑鳩』で笑いの輪を広げていきたいものです。

著者プロフィール

お 満夫
さき 芝崎



山形県千歳市 昭和25年 山形大学工学部卒
三菱重工業(株)入社
組立/据付/部品製造
機械加工/組立/据付/部品製造
機械管理を担当、関連製品は①印刷・紙工機械、②原動機、③環境装置等に携わる。特に①の紙工・段ボール製造機では、プラントの据付で北京・上海に6カ月出張、特に中国の歴史の興味を持ち、その関連の本を読むことを楽しみにしている。
現在ジョークサロン会員、「郵鳥」として会員への月刊誌「伝笑鳩」の送付を担当している。